



長年の努力を称える表彰旗

町消防団が優良消防団に選ばれる



前後町長に受賞を報告した土屋団長(右)

町消防団が第65回日本消防協会定例表彰式で優良消防団(表彰旗)を受賞しました。

式は2月26日、東京都虎ノ門の日本消防会館で行われ、全国の40消防団が同表彰を受賞。県内では町消防団が唯一選ばれました。規律厳正にして技能熟達、施設を充実し、消防使命の達成に努めたことが認められたものです。

2月27日、受賞報告のため町役場を訪れた土屋孝彦団長は「身の引き締まる思い。これを機に消防団の結束力を一層強くしていきたい」と話しました。

人命救助の町民9人を表彰

会津若松地方広域消防本部が表彰式



表彰式に出席した皆さん。前列左から鈴木さん、本間さん、田巻さん、菅野マサ子さん。後列右端が菅野憲二郎さん。後列左端が六角消防長

2月21日に行われた会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部の一般協力者に対する表彰式で、人命救助に協力した町民9人が表彰されました。

表彰を受けた行津桜川の田巻敏徳さん、三浦みほ子さん、三浦哲さん、鈴木久仁子さん、渡部由美さん、渡部咲さんの6人は1月27日午前、屋根から落ちた雪に埋まった5歳の男の子を助け出しました。

また、翁島駅前前の菅野憲二郎さん、菅野マサ子さん、

本間輝義さんは1月28日午後、除雪中に屋根から落ちた雪に埋まった81歳の女性を助け出しました。

表彰式は会津若松市の同本部で執り行われ、管内で発生した落雪事故や住宅火災など4件の事案で、人命救助に貢献した12人をたたえました。式では六角篤消防長が「救助救出への行動が人命を救った。皆さんの強い責任感と勇気ある行動に感謝します」と述べ、受賞者一人一人に表彰状を手渡しました。

「鬼は外、福は内」の声響く

野口英世記念館で児童らが豆まき



勢いよく豆を投げる児童ら

翁島小学校の児童らは2月1日、節分にちなみ、野口英世記念館内の博士の生家で豆まきをしました。

地域の伝統行事を学んでもらうために毎年実施しているもので、同校の1年生と3年生合わせて20人が豆まきに挑戦し、一年の幸福を願いました。

八子弥寿男館長が「今年一年無事であるように、博士の家の鬼をはらって、福を呼んでください」とあいさつ。鬼に扮した職員らが現れると、児童らは「鬼は外、福は内」と元気な声を響かせながら、勢いよく豆をまきました。

音楽でつながった善意届く

猪苗代中の文化活動のために寄付



宇南山校長(中央)に善意を手渡す関田さん(右)

東京都の実践学園高校合唱部は2月2日、文化活動に役立ててもらおうと猪苗代中学校に5万円を寄付しました。

これは同部が1月13日に開催したチャリティーコンサートで来場者から募った善意。同部顧問の関田裕一さんが本町出身で、同部や関田さんが主宰する中野坂上ウインドオーケストラが東日本大震災後、いなわしろ音楽祭に出演するなど、猪苗代吹奏楽団と交流していることから実現したものです。福島第一原発事故による影響のため、浜通りなどから避難する生徒が通っていることから猪苗代中学校に寄付されました。

冬山遭難の救助技術を学ぶ

猪苗代地区山岳遭対協が救助訓練



遭難者の状態を確認する参加者ら

猪苗代山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は2月7日、猪苗代スキー場で冬山遭難救助訓練を実施し、万一の事故に備えました。

訓練には、同協議会の会員ら約50人が参加。スキー場でスノーシューを履いての歩行訓練、遭難者の捜索訓練などに取り組んだ後、幸陽の杜で頸椎をけがした人の搬送方法や低体温症・凍傷について学びました。

参加者らは、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組み、冬山の遭難事故防止に向けて決意を新たにしました。



ご意見ありがとうございます

町民意見箱「ご意見箱」

町民意見箱「ご意見箱」に寄せられたご意見を紹介します。

猪苗代町のハローワークについて

【ご意見】

町役場商工観光課に無料職業紹介所がありますが、2階奥にあるため足を運びにくい状況です。1階ロビーや会計室に設置してはいかがでしょうか。

また、パソコンを設置して検索できるようなスペースがあると良いと思います。

【回答】

改善策としまして、1階町民ホールに新たにコーナーを設置し、これまで商工観光課でのみ受け取ることができた「猪苗代町無料職業紹介所求人情報」やハローワークなどからの各種情報を提供いたします。

併せて、ハローワーク求人情報の閲覧用パソコンを試験的に設置して、利用いただきながら管理や利用状況などを検証し、今後の本格的な運用を検討してまいります。

●担当 商工観光課 ☎(62)2117



町役場2階の商工観光課に開設している猪苗代町無料職業紹介所



より良いまちづくりのために 皆さんの声をお聞かせください

町民の皆さんからご意見などをお聞きし、それを行政に反映するため、町内公共施設に設置している町民意見箱により提案や意見をお受けします。

●町民意見箱「ご意見箱」

町では、町民参加を推進し、町民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、町民の皆さんから町政に対するご提案などをお寄せいただく町民意見箱「ご意見箱」を設置しています。お寄せいただいたご提案、ご意見などは、個人情報を除いて広報紙で回答します。

●町民意見箱の設置場所

役場庁舎、町総合体育館(カメリーナ)、町体験交流館(学びいな)

●回答方法

「広報猪苗代」で回答します。

●記載について

- ・記名、無記名は問いません。
- ・用紙は備え付けていますが、様式は問いません。
- ・郵便やファクシミリでのご意見、ご提言もお待ちしております。

※他人を誹謗中傷するもの、営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。

※内容が町以外の機関(国、県など)に関するもの場合、町から該当する機関に内容を伝えますのでご了承ください。

■町民意見箱に関する問い合わせや郵便・FAXによるご意見、ご提言の送付は下記までお願いします

町総務課秘書広報業務
〒969-3123 猪苗代町字城南 100
☎0242(62)2111 FAX 0242(62)5175

役場などに手作りの贈り物

遠藤マサコさんが置物などを贈呈



贈呈した白鳥の置物を持つ遠藤さん

遠藤マサコさん(伯父ヶ倉)は2月22日、町役場に白鳥の置物3つ、猪苗代小学校にぞうきん200枚を寄贈しました。

すべて遠藤さんの手作りで、白鳥は長方形の紙を折り、重ねて作ったもの。1つ作るのに1カ月以上かかるそうです。ぞうきんは7年前から町内の各学校に寄贈しています。

遠藤さんは「白鳥は町の鳥でもあります。町も白鳥のように羽ばたいてほしいという願いを込めて作りました」と話しました。この置物は町役場の町長室、町民課窓口とカメリーナに飾られています。

拳士らが慣れない雪と格闘

愛知県の少林寺拳法関係者が除雪



ほとんどの人が雪かきは初めての体験でした

愛知県の少林寺拳法関係者らでつくる「あなたに心届け隊つながろう日本プロジェクト」は9日、本町を訪れ、猪苗代小学校で同校のPTA関係者らと共に除雪作業を行いました。

同団体は東日本大震災後、被災地の支援活動を展開。今回は少林寺拳法の会津猪苗代道院との縁で本町を訪れました。

愛知県内の3道場から訪れた約20人の参加者は、慣れない雪に苦戦しながら、スコップやスノーダンプなどで校舎周辺に降り積もった雪を片付けました。作業を終えると、参加した皆さんは「雪かきの大変さが身にしみてわかった」と話しました。

火山防災などの理解深める

磐梯山火山防災連絡会が講演会



火山防災エキスパートの講演を熱心に聞く参加者ら

磐梯町、北塩原村と本町で構成する磐梯山火山防災連絡会は2月16日、磐梯町中央公民館で火山防災講演会を開催し、参加者約150人が火山防災について理解を深めました。

福島地方気象台の樋渡秀一火山防災官が磐梯山の現況について説明した後、内閣府火山防災エキスパートの杉本伸一氏と田鍋敏也氏が講演。杉本氏は「雲仙岳における防災とジオパーク」、田鍋氏は「火山と共生する地域・人づくり」と題し、雲仙岳や有珠山の噴火の経験談を交えながら、火山災害に対する心構えや火山との共生について話しました。